

放送・通信メディアと新聞社

—マルチユースの歩みと現状—

2010年2月2日

読売新聞東京本社メディア戦略局

馬野耕至

新聞社が先導した放送事業の草創期

- 1922年3月 東京朝日が国内初のラジオ放送一般公開実験を実施
- 1924年4月 大阪毎日が試験放送期間中に総選挙の開票状況を速報(ニュース放送の草分け)
- 1925年7月 社団法人東京放送局がラジオの本放送を開始(評議員の3分の1が新聞社から)
- 1952年7月 最初のテレビ放送予備免許を日本テレビ放送網(初代社長は正力松太郎)

放送・通信分野の新規メディアへの新聞社の対応

<放送分野>

- ・80年代後半から＝ケーブルテレビ、文字多重放送へのニュース配信
- ・90年代前半から＝CSアナログでニュース放映、コミュニティ放送やミニFMへのニュース配信
- ・90年代後半から＝CSデジタルでニュース放映
- ・2000年代初頭から＝BSデジタルでニュースをデータ放送

<通信分野>

- ・80年代初頭から＝ニューメディア実験(キャプテン、INSなど)に参加
- ・80年代末から＝パソコン通信でニュース配信
- ・90年代前半＝テレホン新聞、ファックス新聞
- ・90年代後半から＝インターネットにニュースサイトを開設
- ・90年代末から＝携帯電話で有料ニュースサービスを開始

新聞・通信社の電子・電波メディアへの参入状況

		2000年	01年	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年
インターネット	ウェブ	67	71	74	79	83	84	85	86	88	87
	メール					39	41	40	40	38	39
	ウェブ上の動画					26	28	34	42	42	47
	コンテンツ外部提供					34	46	46	46	53	55
	紙面イメージ					4	6	9	10	14	19
携帯・固定端末向け情報提供		36	41	48	53	59	62	63	66	65	69
パソコン通信		20	11	8	3	0	0	0	0	0	0
ファックスによる情報サービス		16	16	13	11	8	7	6	5	5	5
データベース		31	29	29	32	35	36	38	38	48	50
電光ニュース		47	49	47	47	45	45	44	43	45	45
CATV		42	43	43	44	42	40	41	43	38	40
地上波テレビ文字多重放送		9	8	7	7	7	6	6	6	5	3
FM文字多重放送		9	10	9	8	9	8	7	6	5	9
地上波テレビデータ放送		6	8	8	8	6	5	4	5	2	2
BSデジタル・BSデータ放送		11	18	18	11	9	7	6	6	6	5
CS放送		8	12	12	10	10	9	7	6	7	8
放送番組供給事業		11	12	9	10	7	9	9	9	9	8
コミュニティ放送		27	28	30	30	28	28	29	29	28	30

日本新聞協会「新聞・通信社の電子・電波メディア現況調査」から

全国紙のネット事業の主な歩み①

- 1995年3月 朝日新聞出版局が出版物紹介のホームページ「Open Door」を開設
- 同年6月 読売新聞メディア企画局がニュースサイトを開設
- 同年8月 朝日新聞が「アサヒ・コム」、毎日新聞が「Jam Jam」を開設
- 96年4月 日経新聞が「日経ネット」を開設
- 同年5月 産経新聞が「産経Web」を開設

全国紙のネット事業の主な歩み②

- 97年2月 朝日新聞が会員向けニュース速報・データベースサービス「アサヒ・コム・パーフェクト」を開始
- 同年9月 産経新聞が最終版全文を有料で提供する「産経電子朝刊」を開始
- 98年6月 読売新聞がヨミウリ・オンライン上で動画ニュースを開始
- 99年2月 NTTドコモのiモードで、読売がニュースなどの有料配信を開始

全国紙のネット事業の主な歩み③

- 2001年10月 産経新聞が紙面イメージの電子配信サービス「ニュースビュー」を開始
- 2003年3月 朝日新聞が会員制サービス「Club A&A」を有料化
- 同年12月 日経新聞が「日経ネット」上で無料提供していた「ビジネス常識検定」を有料化
- 2004年1月 朝日がアジア向け国際衛星版をネット経由で配信する「ウェブ朝日新聞」を開始
- 同年3月 朝日がアサヒコムの記事見出しなどをRSSで配信を開始

全国紙のネット事業の主な歩み④

- 2004年4月 毎日新聞がマイクロソフト社と共同ニュースサイト「MSN毎日インタラクティブ」を開設
- 同年9月 毎日が記者の「理系白書ブログ」を開始
- 2005年9月 産経新聞が電子新聞事業「産経Net View」を開始
- 2005年10月 日経、毎日、読売各社がポッドキャストによるニュース配信を開始

全国紙のネット事業の主な歩み⑤

- 2006年1月 読売新聞が、「読売ニュースビデオポッドキャスト」の配信を開始
- 同年2月 産経新聞がデジタルメディア部門を分社化して、産経デジタルを設立
- 同年6月 産経デジタルがニュースサイトと個人ブログを融合させたサイト「iza(イザ!)」を開設
- 同年11月 日経新聞がSNS機能を備えたコミュニティサイト「日経ワガマガ」を開設

全国紙のネット事業の主な歩み⑥

- 2007年1月 日経新聞が電子メディア部門を分社化、日経新聞デジタルメディアを設立
- 同年9月 毎日新聞がマイクロソフトとの提携を解消、「MSN毎日インタラクティブ」を終了
- 同年10月 産経がマイクロソフトと提携し、「MSN産経ニュース」を開設
- 2008年1月 日経、朝日、読売が社説などを読み比べできる「あらたにす」を開設

全国紙のネット事業の主な歩み⑦

- 2008年12月 産経新聞がiPhoneに紙面イメージ提供開始
- 2009年3月 朝日新聞がYou Tubeに「Channel ASAHI」を開設
- 同年6月 朝日がテレ朝、KDDIとauケータイ向けに「EZ ニュースEX」を開始
- 同年10月 読売新聞が「有料課金+広告」モデルの医療サイト「ヨミドクター」を開設

インターネットの潮流と国内新聞社の足跡

1995年

インターネット普及期

- 1995年6月から新聞各社のニュースサイト開設が順次始まる。
- 最初のニュースサイトは社説と英字ニュースを掲載。無料で閲覧可能な広告付きサイト。
- 同年7月には、朝夕刊から選んだ一般ニュースの掲載もスタート。
- 同年8月からは、更新頻度を高めて速報記事も配信。
- 97年ごろから、有料サイトの試みが始まる。

2000年

ブロードバンド&モバイル進展期

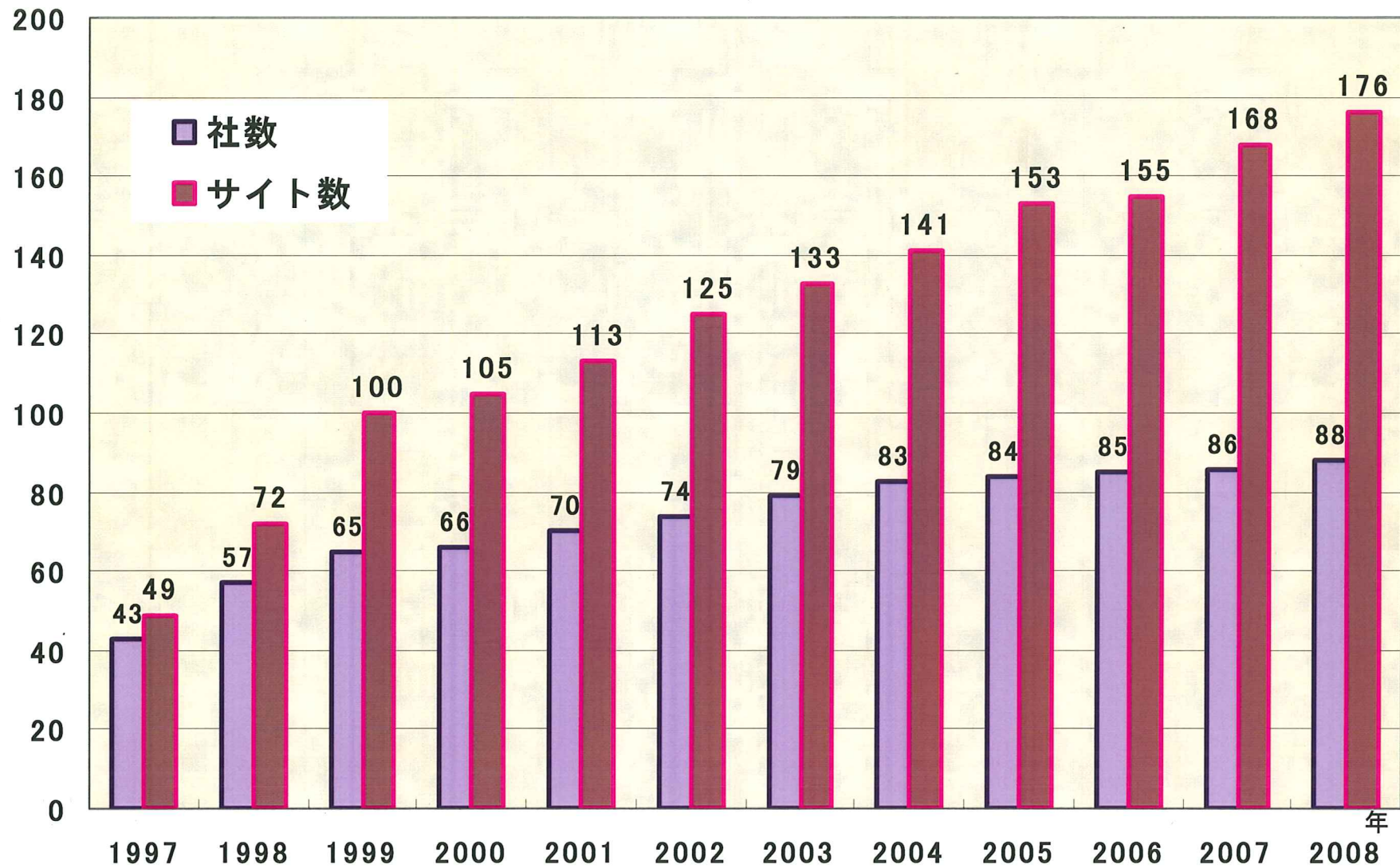
- 1999年2月から、ケータイでのインターネットサービスが始まる。新聞各社の有料記事配信サービスが順次スタート。
- インターネットを使って紙面イメージの有料配信サービスを始める新聞社も現れる。
- 記事配信サービスを強化するため、速報体制を整備する新聞社が増える。
- 自社のサイトで動画コンテンツを配信する新聞社が増える。

2005年

Web2.0(CGM)時代

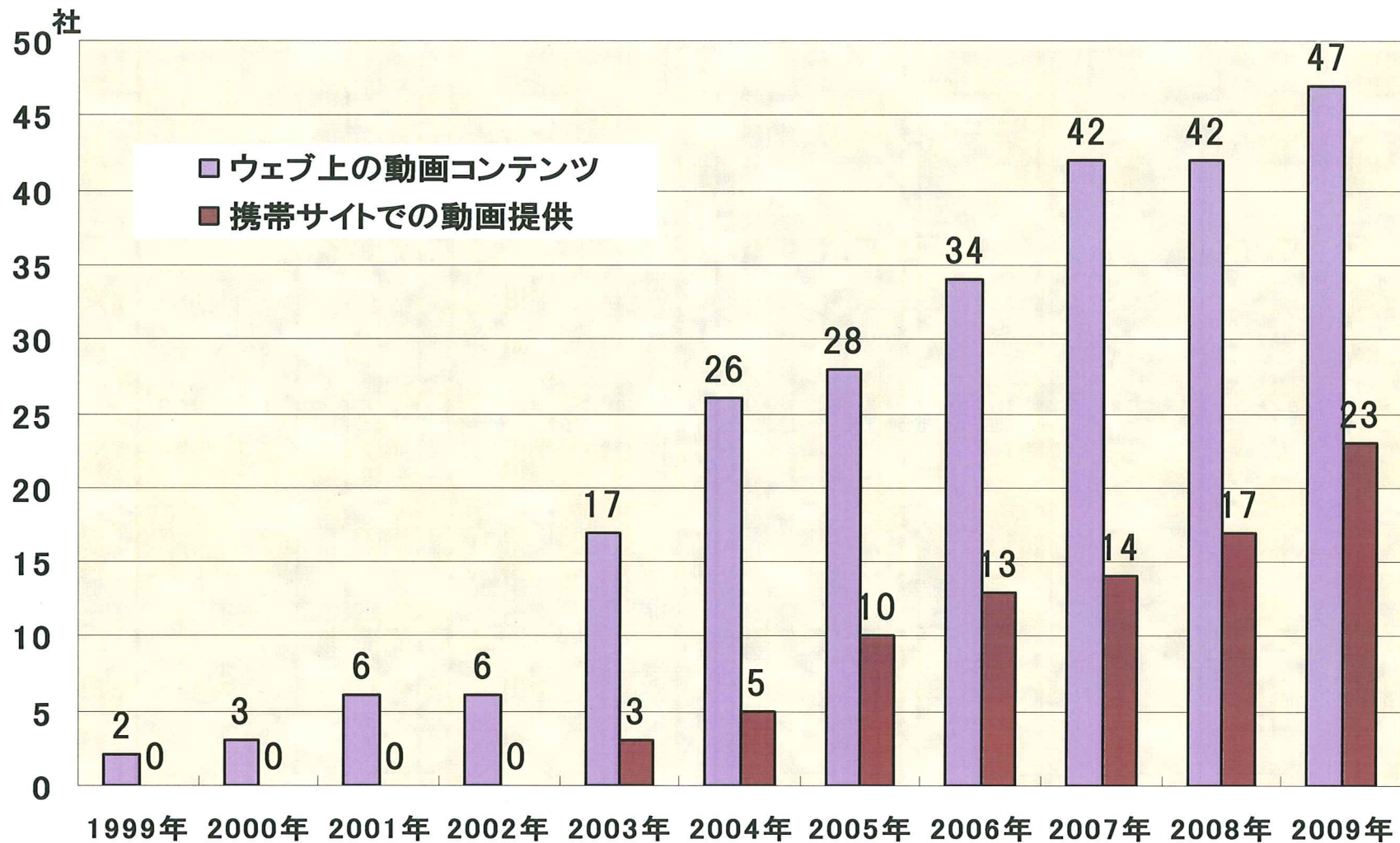
- 2004年から、ブログ、RSS配信を始める新聞社が出現。
- 2005年から、一部の新聞社でポッドキャストを使ったニュース配信サービスを開始。
- 2006年から、SNS機能を備えたコミュニティーサイトを立ち上げる新聞社が現れる。
- 2007年から、ソーシャルブックマークなどを使って外部サイトと連携を図る新聞社も。

ウェブサイト開設の新聞社数とサイト数の推移



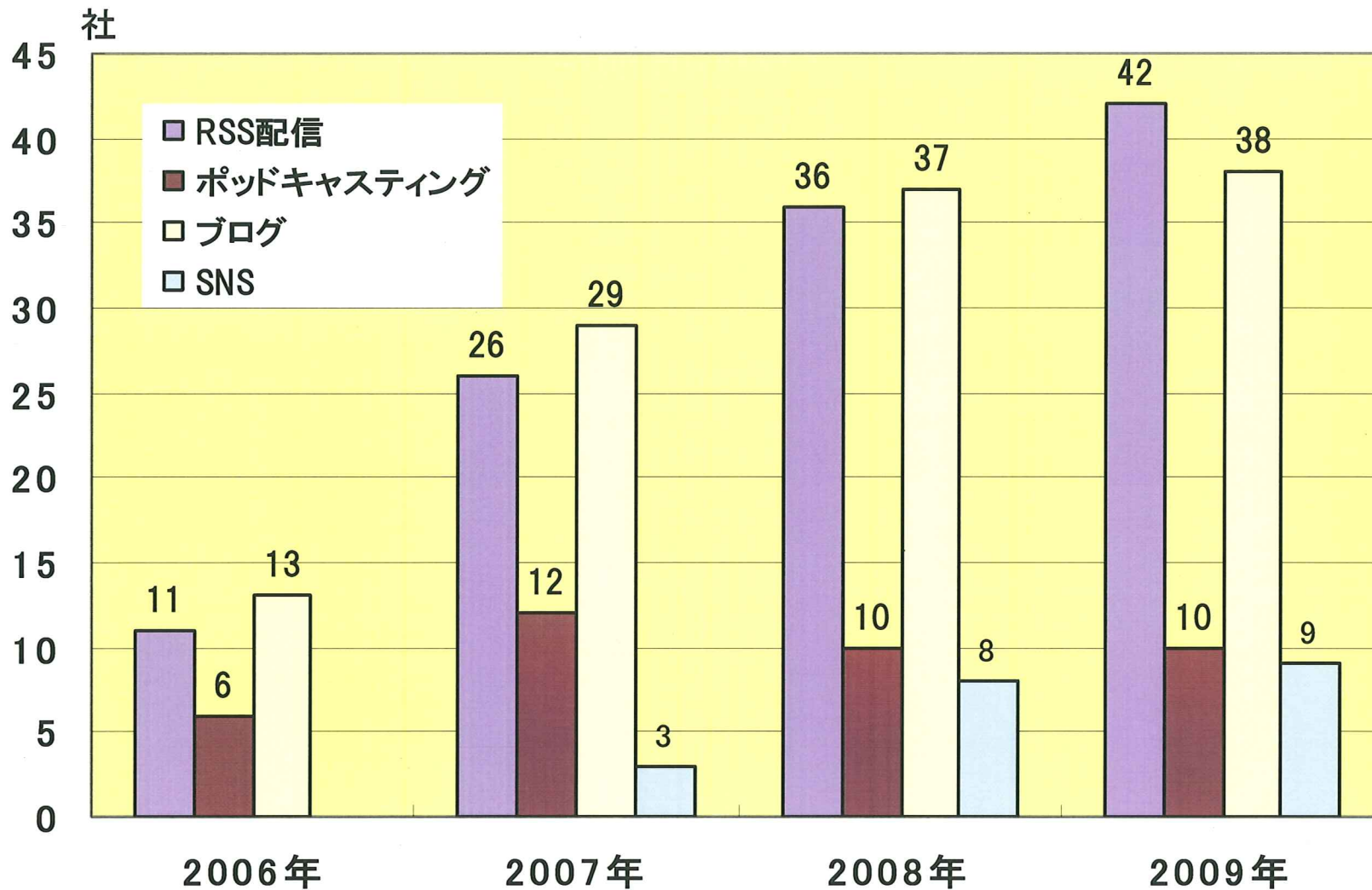
日本新聞協会「新聞・通信社の電子・電波メディア現況調査」から

動画コンテンツを提供している新聞・通信社数の推移



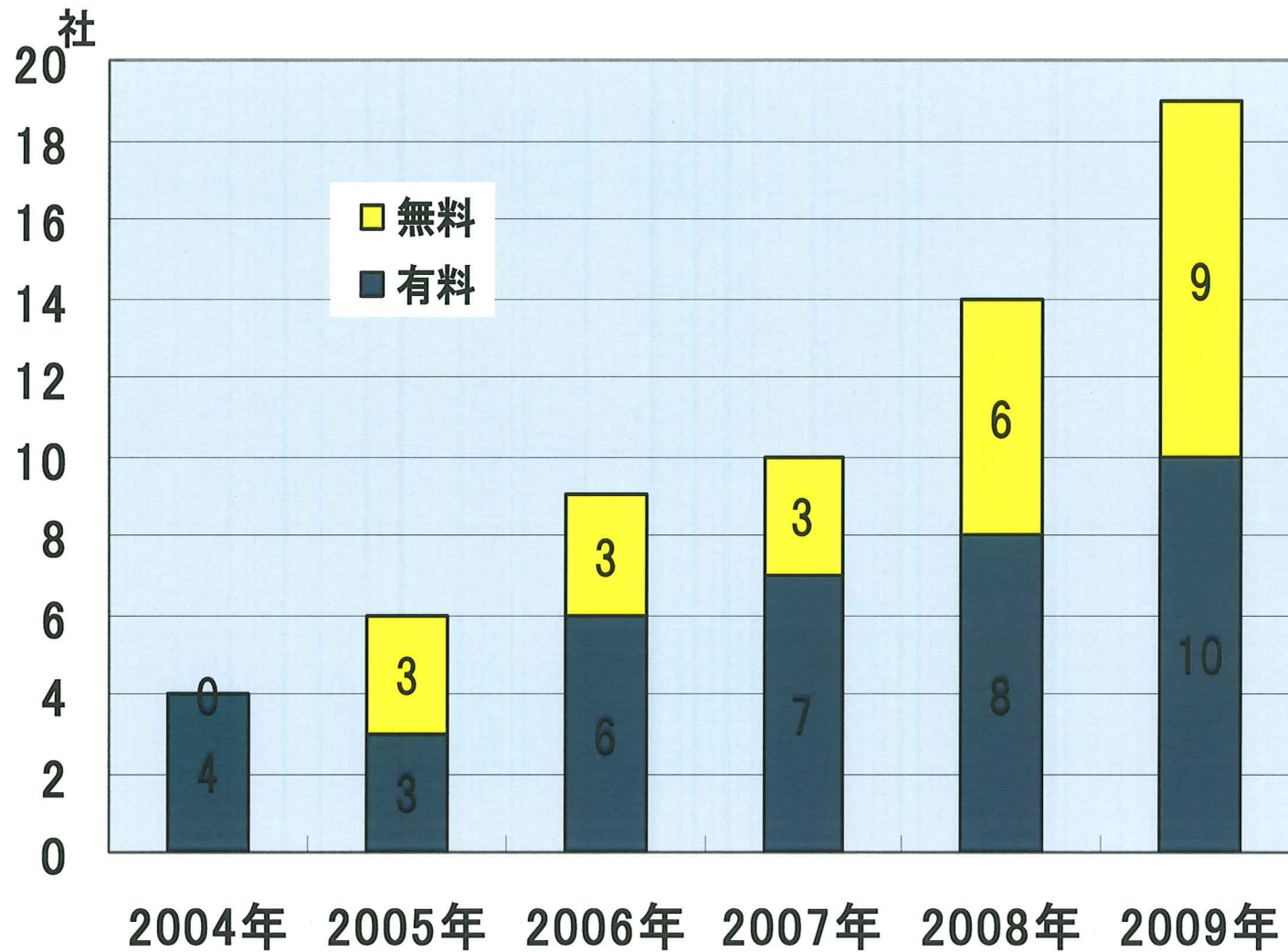
日本新聞協会「新聞・通信社の電子・電波メディア現況調査」から

ブログ、SNS等を実施している新聞・通信社数の推移



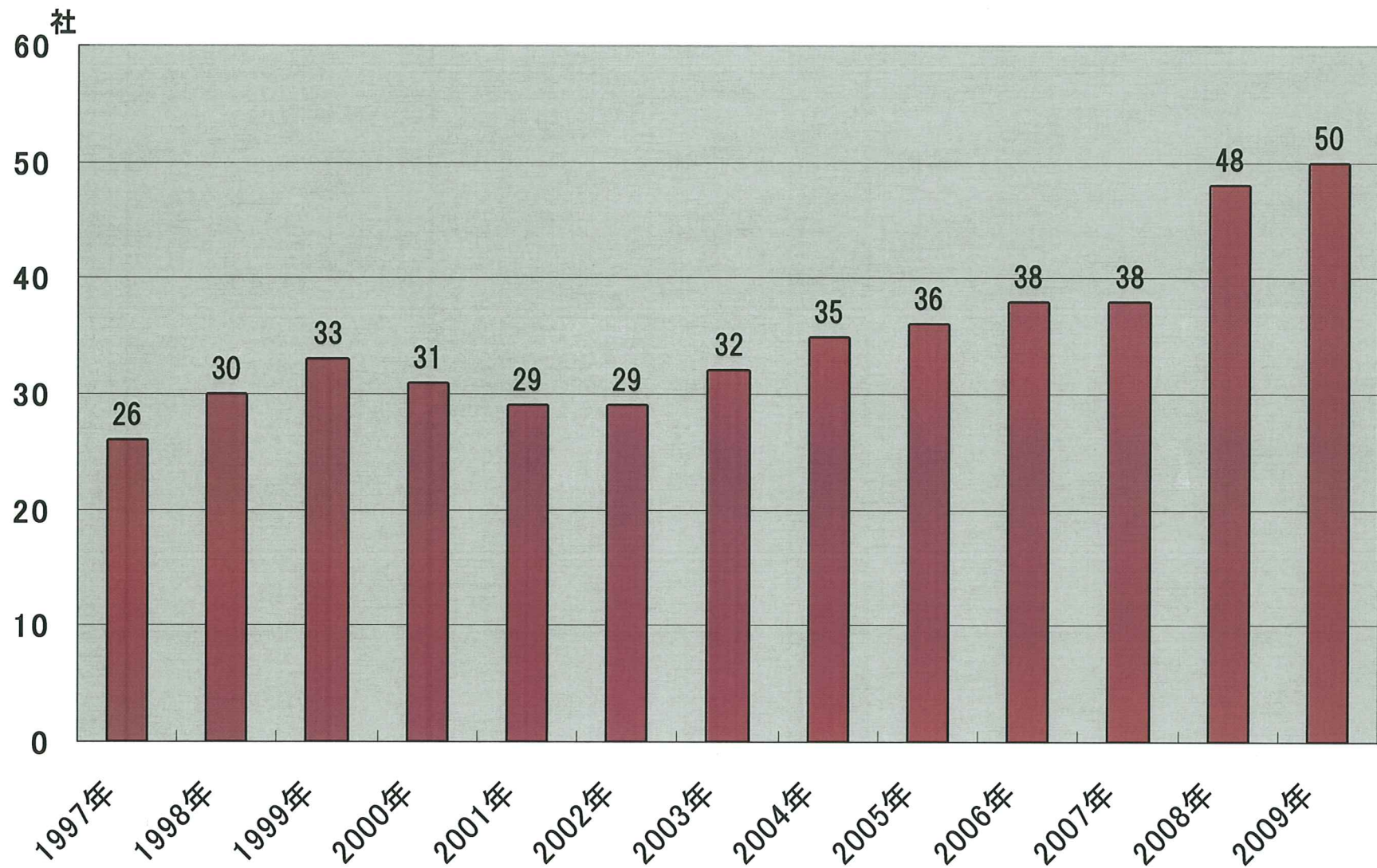
日本新聞協会「新聞・通信社の電子・電波メディア現況調査」から

紙面イメージ型電子新聞を提供している新聞社数の推移



日本新聞協会「新聞・通信社の電子・電波メディア現況調査」から

データベースを提供している新聞・通信社数の推移

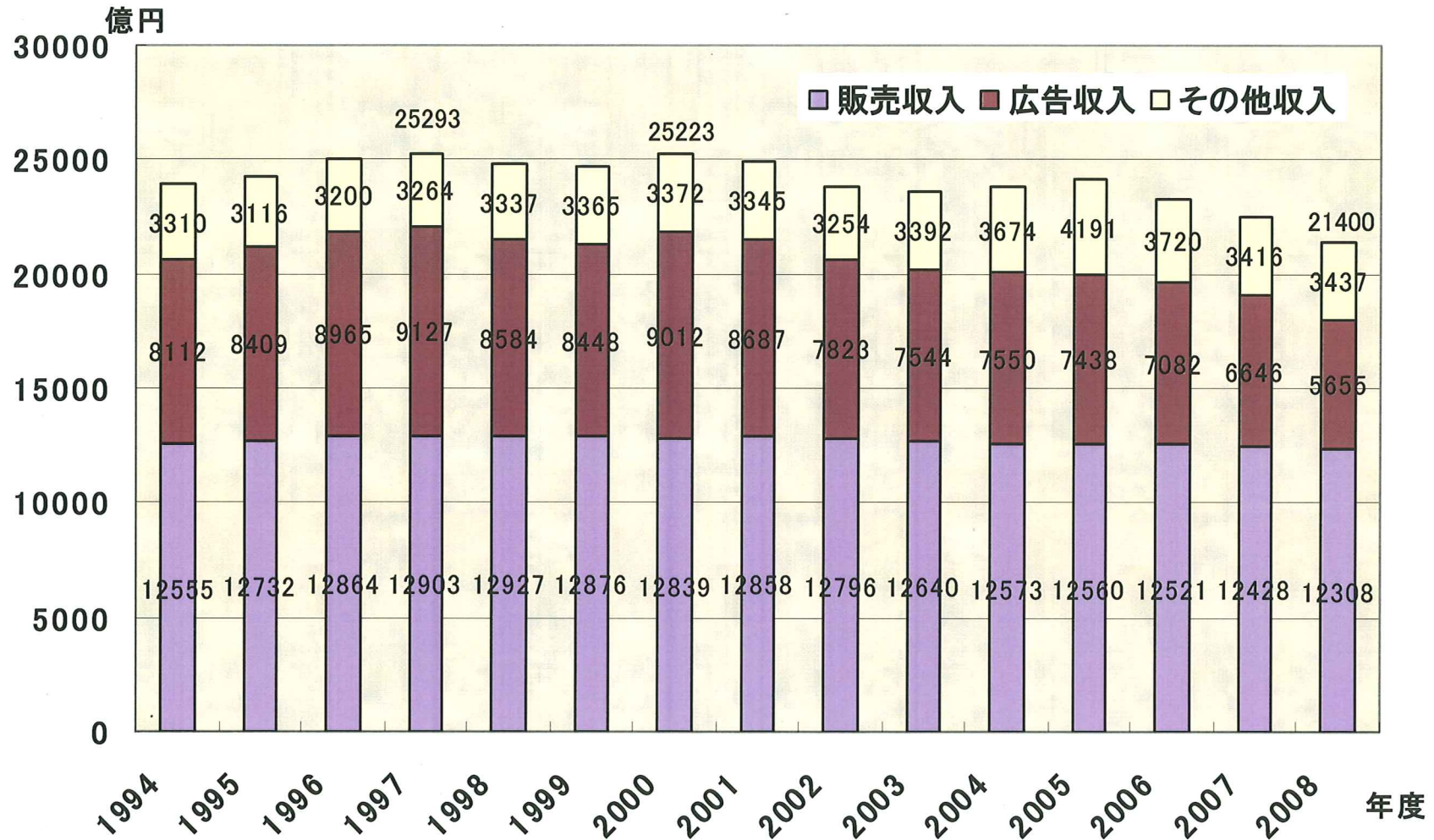


日本新聞協会「新聞・通信社の電子・電波メディア現況調査」から

読売新聞社のデータベースサービス

商品名	YOMID AS(読売新聞記事データベース)	読売新聞縮刷版CD-ROM	読売人物データベース	紙面データベース「明治の読売新聞」	よみうり写真館	ヨミダス文書館	紙面データベース「大正の読売新聞」	紙面データベース「昭和の読売新聞戦前Ⅰ」	紙面データベース「昭和の読売新聞戦前Ⅱ」	スクールヨミダス	紙面データベース「昭和の読売新聞戦後Ⅰ」	紙面データベース「昭和の読売新聞戦後Ⅱ」	ヨミダス歴史館	紙面データベース「昭和の読売新聞戦後Ⅲ」
開始年	1987年4月(英字は90年3月)	1994年1月	1999年9月	1999年11月	2000年6月	2000年12月	2001年4月	2002年2月	2002年11月	2003年10月	2004年12月	2007年1月	2009年2月	2009年10月
提供情報内容	朝夕刊の最終版(本版および地域版)、DAILY YOMIURIから見出し・全文	読売新聞全紙面が検索できるデータベース	各界著名人のプロフィール	明治7年から45年の読売新聞紙面が検索できるデータベース	紙面掲載された写真約53万枚	朝夕刊の最終版(本版および地域版)、DAILY YOMIURIから見出し・全文、人物データベース	大正元年から15年の読売新聞紙面が検索できるデータベース	昭和元年から11年の読売新聞紙面が検索できるデータベース	昭和12年から20年の読売新聞紙面が検索できるデータベース	ヨミダス文書館と読売新聞縮刷版CD-ROMを組み合わせ合わせた学校向け記事データベース	昭和21年から35年の読売新聞紙面が検索できるデータベース	昭和36年から45年の読売新聞紙面が検索できるデータベース	明治7年の創刊から昭和に至るまでの紙面、1986年からの記事テキスト、1989年からの英字新聞テキスト、人物データベース	昭和46年から55年の読売新聞紙面が検索できるデータベース
提供方法	ディストリビューター(日経、G-Search、ファクティバ、ニュースウォッチ)を経由	CD-ROM販売	ディストリビューター(日経、G-Search)を経由	CD-ROM販売	自社、注文はホームページ上、提供は印画紙あるいは電子媒体	自社のホームページ上	CD-ROM販売	CD-ROM、DVD販売	CD-ROM、DVD販売	自社のホームページ上	CD-ROM、DVD販売	CD-ROM、DVD販売	自社のホームページ上	DVD販売

日刊新聞社の売上高の推移



日本新聞協会調査から

国内日刊紙の総発行部数の推移

